

# しが国際協力親善大使レポート

にしむら きよみ  
西村 紀代美さん

隊次：2016年度3次隊

職種：数学教育

派遣国：ウガンダ

## 自己紹介

27年間数学教師として勤めた県立高校を6年前に退職し、その年の10月から大洋州にあるバヌアツ共和国の教員養成学校で2年3ヶ月、2017年1月からウガンダ共和国の小学校教員養成学校でボランティアをしています。

## 活動している国、地域の気候や文化の紹介

赤道直下のアフリカの国と聞くと「すごく暑いだろうな」と思うかもしれませんが、私が住むウガンダの首都カンパラは標高が1200mくらいなので過ごしやすいです。晴れた日中は気温が35℃以上になることもあります。朝晩は涼しくトレーナーを着ることが多いです。そして農作物は豊富で、パイナップルやアボガドなどの果物やトマト、キャベツ、玉葱、ナス等の野菜は一年中地元の市場で安く手に入ります。元英国首相のチャーチルが” Pearl of Africa” と称しただけのことはあります。

赤道直下なので、年間を通して日の出は7時頃、日没は夕方の7時頃です。赴任当初は昼夜の長さの変化しないことに違和感を覚えたものです。国土は日本の本州くらいの大きさで、人口は約4000万人です。治安は日本で予想していたよりかなりいいです。

## 活動や生活について

私が活動している Kibuli Core Primary Teachers' College (チブuri小学校教員養成学校) はイスラム系の団体が設立した学校ですが、職員・学生共にイスラム教徒は半数くらいで、残りはキリスト教徒とその他の宗教徒です。ベールは女子生徒の制服の一部です。イスラム教徒以外の学生も敷地内および行事のときは常に着用します。学生は日本の中学校にあたるセコンダリースクール前半(4年間)を終えて(日本の高校1年終了)入学してきます。教員養成学校の2年間に教員に必要な知識や授業の仕方などを学びます。もちろん卒業後は小学校の教員になります。学校は2月に始まり、12月に終わります。入学式も始業式、終業式もありません。何となく始まって、何となく終わっているという感じです。

前回は授業に関することを中心に報告しましたので、今回は行事についてお伝えします。行事の内容は年によって違いますが、開催は2学期(5月末~8月末)に集中しています。学生が最も楽しみにしているのは、音楽祭(Music event)と体育祭(Sport day)でしょう。

音楽祭はスピーチ、コーラス、演劇、ダンス(Traditional dance)の4種目で構成されています。スピーチと演劇はテーマが決められていて、それに関わった内容を発表します。一昨年(2017)年は” Early Pregnancy” でした。(ウガンダでは10代女性の出産が多く、社会問題のひとつになっています。)学生を出身地によって6チームに分けて、チーム対抗で競います。各チームでメンバー決めや台本・大道具

製作を行うのは日本の高校の学園祭と同じです。もちろん学生は生き活きと張り切って準備に取り組みますが、音楽祭前は疲れて講義に集中できない学生も少なくありません。

私がおもしろいなあと思った種目はスピーチとダンスです。スピーチは、テレビの討論形式で主張を述べたり、あるいは記者会見を模した会場を作ってそこで演説したりと場面設定に工夫が見られて楽しかったです。次に、ダンスですが、当たり前ですが「これぞアフリカ!!」を感じさせるものばかりです。見ているだけで、ビレッジにいるような気分になってしまいます。前回の派遣国バヌアツ同様、ウガンダも地域の文化を大切にしています。学生に「どうやって振りを覚えたの?」と尋ねたら、「子どものときからまわりの大人たちが踊っているのを見ていたので、いつの間にか覚えた」ということでした。地方では、マスメディアではなく、『親から子へ』の伝達方法がまだまだ健在です。

体育祭は、前半が陸上競技、後半が球技大会です。これもチーム対抗です。陸上競技の種目は短・中・長距離走、リレーおよび競歩です。いずれのレースでもゴール前はすごく盛り上がっていました。ゴールした途端倒れ込む選手もいました。そうかと思うと、「参加することに意義があるのだ」と言わんばかりに、スタートからゴールまでひたすら歩く学生もいました。また、自作の旗を振って、のどをからしながら応援する学生も多数いて、「ああ、日本の生徒と同じだなあ」と微笑ましく見ていました。ただ、日本で行われているような団体種目（大縄跳び、玉入れ、綱引き等）はありませんでした。体育祭後に学生たちに大縄跳びと綱引きの動画を見せたところ、興味津々で「来年はやってみたい」と言っていました。洋の東西を問わず、行事は人を楽しませ、そして、団結力も強めてくれるようですね。



コーラス:音量があって声域も広いので、聞き応えがあります。特に低音がステキですよ!!



スピーチ:このチームはテレビ番組のひとこまを想像させるような演出でした。



Traditional dance:振り付けも衣装製作もすべて自分たちでします。



Traditional dance 2:発表を終えた学生と記念撮影。左端の男性は音響係でドラムを演奏していました。右端奥の少年（学生ではありません）はパンを売っています。



200m 走スタート:体操服のときもベールは着用します。右端の職員が持っている道具は、2枚の板を打ち合わせてスタートの合図をするのに使います。